

京丹波

議会だより

第46号

[平成 28 年 1 月 15 日]

発行 京都府京丹波町議会

新年明けまして
おめでとうございます



新体制でスタート

議長に野口久之議員を再選
副議長に松村篤郎議員を選出

委員会構成決まる

【常任委員会】

総務文教常任委員会
産業建設常任委員会
福祉厚生常任委員会

【議会運営委員会】

【特別委員会】

議会活性化特別委員会
交通網対策特別委員会
議会広報特別委員会



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
991,045件 (H28. 1.4現在) 前号より1,731件増



議長に野口久之議員を再選 副議長に松村篤郎議員を選出

平成27年11月25日に開催された第4回臨時会において、議長に野口久之議員を再選、副議長に岩田恵一議員を選出し、各委員会委員の選任を行いました。その後、岩田恵一副議長の辞職に伴い、12月22日に開催された第4回定例会本会議において、副議長に松村篤郎議員を選出しました。



住みよいまちづくりをめざして

議長 野口 久之

新年明けましておめでとうございます。町民のみなさまにおかれましては、28年の輝かしい新春を、ご家族お揃いで迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は京丹波町制施行10周年の記念すべき年でありました。合併以来、急速に進む少子高齢化のなかにおいて、みなさまが安心して暮らせる町にしていかなければなりません。本町の現状を認識し、町の将来に向けてどうあるべきか考える必要があります。

また、京都縦貫自動車道が全線開通となった歴

史的な年でもありました。本町の主力産業である農林産物に自然景観が生かされ、交流人口の増加や地域活性化につながるものと期待しております。地方を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況にあります。地方を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況にあります。地方を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況にあります。

りますが、誰もが住みたくなる京丹波町をめざして、議会といたしましてもみなさまと一緒に、本町の発展に向けて努力して参る所存でございます。今後とも、格段のご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年がみなさまにとって幸多い年でありますようお祈り申し上げます。

素晴らしいまちづくりを議会も一体となって

副議長 松村 篤郎

28年の新年年明けを、町民のみなさまとともにお慶び申し上げます。

27年第4回定例会（12月22日）において新たに副議長に選任され、責務の重要性を改めて認識しているところであります。浅学非才で微力ではありますが、本町の素晴らしいまちづくりを議会も一体となつて、推進をしていかなければならないと考えます。

昨年合併10周年の節目の年には、本町にとっては画期的な事象が多くありました。町民各位におかれましては、認識を新たにされたこととお察しい

たします。

新たに構成された議会の各委員会においての活発な調査活動や議案審議を実行し、議員一人一人が置かれた立場を自覚して、良識ある議会運営に努めなければなりません。そのためにも常に町民目線の立場にたつことは重要なことでもあります。今ある諸課題に対し、町民各位の期待に応えるべく真摯に取り組んで参ります。どうか一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

総務文教常任委員会



委員長
山下 靖夫

過疎高齢化を念頭に 未来のまちづくりをめざして

これらのことを念頭に置きながら諸施策に対処して参りますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

「地方創生」が叫ばれ、都市住民が農村へ関心を高めたり、新たな生活スタイルを求めて定着・交流したりする「田園回帰」の動きが若い人にあると言われております。

あります。今こそ人口減少に歯止めをかけることが喫緊の課題であります。

当委員会は、所管課が広範囲に及び審議する施策も多岐にわたっておりますが、我々委員は住民感覚を備え、住民の感性・生活の知恵・専門知識・技能を持って取り組んで参りたく思います。本町は昨年、合併10周年を迎えることができました。しかし、過疎高齢化が進み、合併当時から人口が2000人余り減少しています。

北尾 潤
野口 久之
村山 良夫
山下 靖夫
東 まさ子
坂本美智代
岩田 恵一



産業建設常任委員会



委員長
原田 寿賀美

さらなる後継者の 育成を重要課題として

合併10年を迎え、京都縦貫自動車道の全線開通・地域振興拠点施設である道の駅「京丹波 味夢の里」の開設・畑川ダムによる水資源の確保・丹波広域基幹林道の開設（下山く花脊）など町の財産は確保できましたが、今後のまちづくりに活かしていくことが重要となります。

少子高齢化が進む本町にあつては、後継者不足など多くの課題が山積してまいります。

農産物価格の低下、有害鳥獣被害や特産品の振興、災害に強い森づくり、主要道路の整備、上下水道施設の充実、地域商店の繁栄、企業誘致の促進など広範囲にわたりますが、私たちの日常生活の身近な課題であります。本委員会としても全力で取り組んで参ります。



山崎 裕二
篠塚信太郎
山内 武夫
原田寿賀美
山田 均
東 まさ子
岩田 恵一



福祉厚生常任委員会



委員長
梅原 好範



鈴木 利明
坂本美智代
山田 均
森田 幸子
梅原 好範
村山 良夫
松村 篤郎

「日常生活の満足度」 創出をめざして

町民のみなさまが、日々の生活のなかで感じていただけの「日常生活の満足度」を創出しながら、その維持を目的として、全委員が全力を傾注し取り組んで参ります。

そのためには、本町が実施する「町民の命と健康を守り、安心して暮らせるまちづくり」に向けた各種施策が、多様な環境のもとで生活されるみなさまのもとに確実に届けられ、有効に活用していただけることが肝要であると考えます。

行政再編後10年が経過するなかで、今後も「安心して住み続けられる京丹波町」をめざして、各所管課と協働しながら福祉・医療・子育て環境の充実を図り、住民生活に直結する本委員会としての使命を果たして参ります。

議会運営委員会



松村 篤郎
梅原 好範
山内 武夫
山田 均
山下 靖夫
原田寿賀美
篠塚信太郎



委員長
山内 武夫

円滑で効率的な 議会運営を

本年は、私たち議員も任期半ば、折り返しの年を迎えるとともに、京丹波町が誕生して10年、今後のまちづくりのための新たな第1歩を踏み出す年でもあります。

少子高齢化が一段と進行するなかで、山積する課題に対して柔軟かつ的確に対応するためには、議会の改革・活性化、チェック機能のより一層の充実が求められています。

多数の議員で構成される議会にあつて、議会の権能を十分発揮できるよう運営全般にわたり意見調整を図りながら、円滑かつ効率的な議会運営に努めて参りたいと存じます。

みなさま方の一層のご指導をよろしくお願いいたします。



議会活性化特別委員会

委員長
山田 均

町民の願いに応える
議会改革を



議会は、町民の直接選挙により選ばれた代表である議員の合議体であり、二元代表制の一翼を担う存在です。

議会には、町民の付託に応えるとともに、その機能を存分に発揮し、時代に応える議会のあり方を常に模索する責務があります。

このため、執行機関の監視及び評価機能の充実も

とより、開かれた議論の場として自由闊達な討

議を行うことにより、町政の課題を的確に把握

し、積極的な政策立案や政策提

言を行っていかなければなりません。

町民の願いに応える議会改革

に取り組んで参ります。

篠塚信太郎

山崎 裕二

山下 靖夫

山田 均

坂本美智代

梅原 好範

山内 武夫

交通網対策特別委員会



委員長
鈴木 利明

道路網の
一層の整備を



岩田 恵一

森田 幸子

東 まさ子

鈴木 利明

村山 良夫

北尾 潤

原田寿賀美

公共交通網の中心となる町営バスは、町民の不可欠な交通手段として、ほぼ定着の域にあると考えます。しかし、利便性・効率性の観点からの見直しは、不断に行う必要があります。

他方、道路網の整備は大きな課題であります。国道9号観音峠トンネルは生活道路であり、経済効果から見ても大幅な改修をめざした要請活動の検討が必要であると考えます。

また、旧3町間相互のアクセス道路網の整備が課題であり、町行政とも連携を図りながら、積極的に対応して参ります。

広報議会特別委員会

委員長
北尾 潤



委員の思いを紙面に

大人が子どもにも知識をつけさせるためにニュース番組を見ることを勧める日本と、ニュース番組を疑って見ること、どういう意図を持ってその報道がされたかの批判力をつけさせるドイツの、子育ての比較があります。

「事実」をわかりやすく伝える編集過程では、重要などころ、省いても良いところなど、委員会内でそれぞれの思いをぶつけ合う侃々諤々の議論が必要です。委員の熱い思いが伝わる紙面づくりに努めます。



京丹波町議会構成

議長	野口 久之	副議長	松村 篤郎	監査委員	篠塚信太郎
----	-------	-----	-------	------	-------

委員会構成

委員会 役職	議会運営 委員会	常任委員会			特別委員会		
		総務文教 常任委員会	産業建設 常任委員会	福祉厚生 常任委員会	議会活性化 特別委員会	交通網対策 特別委員会	議会広報 特別委員会
委員長	山内 武夫	山下 靖夫	原田寿賀美	梅原 好範	山田 均	鈴木 利明	北尾 潤
副委員長	山田 均	東 まさ子	山田 均	森田 幸子	坂本美智代	東 まさ子	鈴木 利明
委員	篠塚信太郎	坂本美智代	東 まさ子	坂本美智代	篠塚信太郎	森田 幸子	山内 武夫
	山下 靖夫	村山 良夫	篠塚信太郎	山田 均	山内 武夫	原田寿賀美	原田寿賀美
	原田寿賀美	岩田 恵一	山内 武夫	村山 良夫	山下 靖夫	村山 良夫	岩田 恵一
	梅原 好範	北尾 潤	山崎 裕二	鈴木 利明	山崎 裕二	岩田 恵一	梅原 好範
	松村 篤郎	野口 久之	岩田 恵一	松村 篤郎	梅原 好範	北尾 潤	松村 篤郎

議会選出議員

京都中部広域消防組合 議会議員	船井郡衛生管理組合 議会議員	国民健康保険南丹病院 組合議会議員
野口 久之 山下 靖夫	松村 篤郎 梅原 好範	野口 久之
京都府後期高齢者医療 広域連合議会議員	京都地方税機構 議会議員	
野口 久之	山下 靖夫	



山内 武夫 岩田 恵一 原田寿賀美 鈴木 利明 北尾 潤 梅原 好範 松村 篤郎
 議会広報
特別委員会
(写真右から)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
2年間委員一同がんばって参ります。

岩田恵一副議長が、「一身上の都合」を理由に副議長辞職願を提出し、12月22日の本会議で許可され、後任に松村篤郎議員を選出しました。

副議長の辞職に伴い、後任に松村篤郎議員を選出